

村のようす
(48年11月1日現在)

世帯数 1,418戸
人口 7,215人
男 3,516人
女 3,699人
面積 46.62ha

広報 たまかわ

編集・発行
福島県石川郡
玉川村役場総務課

印刷所
須賀川市加治町69
(株) 円谷印刷



村民体育祭

南須釜三連勝

光る岩法寺の準優勝

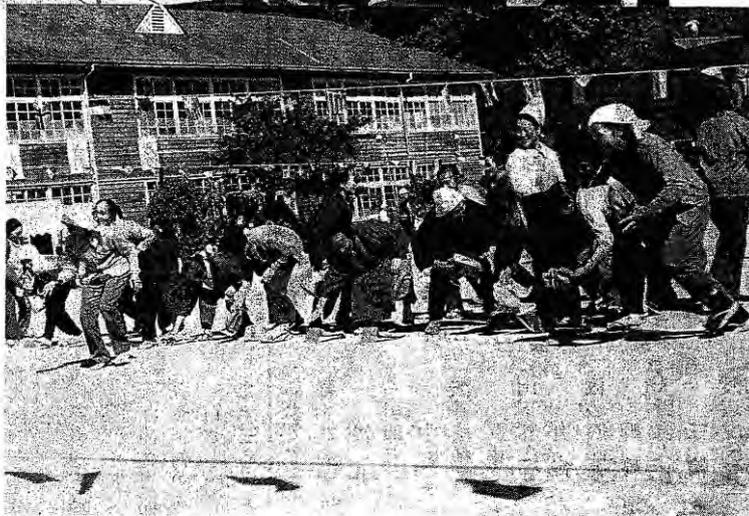
第十三回村民体育祭は、好天に恵まれた十月十日体育の日午前八時三十分から須釜小学校の校庭で行なわれ、総合で南須釜が優勝、岩法寺が準優勝しました。

大会は各部落ごとに区長さんを先頭に選手の入場行進で始められ、小針村長のあいさつがあり、全員のラジオ体操から個人団体の競技に移り、プログラムが進むにつれて観衆の声援にも熱をおび、大会は一層盛り上ってきた。

中でも東西競演の南須釜の出し物は二百名が参加するスクヤードダンス。竜崎では花笠に、ゆかた姿で佐渡おけさを披露し、かっさいをあびた。

又青年団員男女の月夜の盆踊り、スポーツ民踊会の北海よしやれなどの踊りも人気を集めた。

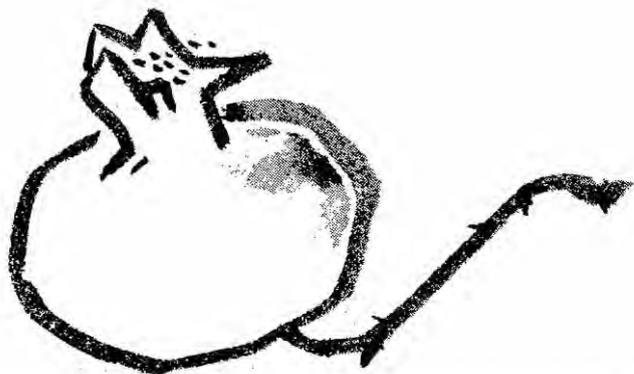
各種部落対抗の競技では南須釜が圧倒的に強く、昨年に続いて優勝、岩法寺は小部落ながら健闘し堂々準優勝、三位は北須釜でした。



㊦ ㊧ 堂々の入場行進
それガンバレガンバレ

十二月の行事予定表

- 三日 玉川村土地改良区総代選挙
- 上旬 国保運営委員会
- 子牛生産検査
- 一八日 乳幼児健康診断
- (母子健康センター)
- 二〇日 第十三回農業委員会
- 中旬 民生委員協議会 月例監査
- 二五日 固定資産税 第三期
- 国民年金 第三期
- 納期限
- 二七日 妊婦健康診断
- (母子健康センター)
- 下旬 昭和四十八年玉川村議会第四回定例会



福島県 農業機械化研修

大型農業機械の整備及び運転技術の向上を図るために、県におかれましては毎年農業機械化研修を矢吹原経営伝習農場内研修館に於いて実施しております。

昭和四十八年度の今後の研修日程は次の通りとなっておりますから多数受講希望されるようお知らせ致します。

一 農業機械化研修実施計画

期 間	日数	対象者	研修種別	研修内容
昭和84年 11月19日～12月7日	20日	一般	初級研修	トラクター免許取得及び作業機取得
昭和48年 12月10日～12月21日	13日	〃	中級研修	けん取機取得及び作業機取得
昭和49年 1月16日～1月26日	11日	〃	整備研修	トラクター整備
昭和49年 2月18日～3月9日	23日	〃	初級研修	トラクター免許取得及び作業機取得

- 二 受講経費
- 1 参考書等約一、〇〇〇円
 - 2 宿泊料 (三食一日当) 五〇〇円
- 本村より通勤可能

- 三、携行品
作業衣、ゴム長、印鑑、筆記用具、日用品、免許取得の場合は現有免許証
- 四 宿泊所
矢吹原経営伝習農場内研修館

林精器の誘致決まる

人口の流出防止と出稼ぎ抑制対策として村では振興計画に基づき積極的に工場誘致を行なっていますが、この程林精器製造株式会社の誘致が決定し、竜崎原作田内に五万六千平方メートルの用地取得も決まりました。

林精器製造株式会社は創立が大正十年と古く、資本金五千万円、年間工業出荷額四十五億円と県内でも有数の企業です。

主要製造品名は各種時計側で公害もなく理想的な企業といえます。

竜崎原作田内に建設される工場は建物面積一万平方メートルでその他厚生施設として屋内体育館、グラウンド、テニスコートを計画しています。

操作予定は昭和五十年九月を目途に現在測量設計を進めており操業開始時における従

- 五 申込先
役場産業課 (役場二階)
- 六 申込期限
各回の実施初日より十日前まで
- 七 その他
この受講に関して不明な点は役場産業課に問い合せて下さい。

混和軽油は 車をいためます

最近混和軽油という言葉がききますが

軽油は、通常一リットル十五円の税金がかかっていますが、税金のかかっていない他の油を混ぜて自動車の燃料として使用することです。

この混和軽油を使用することにより、自動車の心臓部であるエンジンを含め、その上に法律で厳罰をうけ、混ぜた油の量に相当する軽油引取税及び各種加算金が追徴されます。

最初は安いと思われる混

和軽油も、結果的には安いどころか非常に高価な油になりますので絶対に使用しないで下さい。

軽油 (郡山県事務所)

秋の全国火災予防運動が始まる

隣にも声かけあってよい防火

火災の多発期を迎えるにあたり、国民ひとりひとりの防火意識の高揚をはかり、火災の発生防止と人命損傷事故の絶滅を期することを目的に左記により全国火災予防運動が実施されます。

火災の発生は玉川村においても毎年何件かの火災が発生し大きな損害額を出しております。

村民ひとりひとり火の元に注意され、村内からは一件の火災も出さないように注意いたしましょう。

一 実施期間
十一月二十六日から十二月二日まで

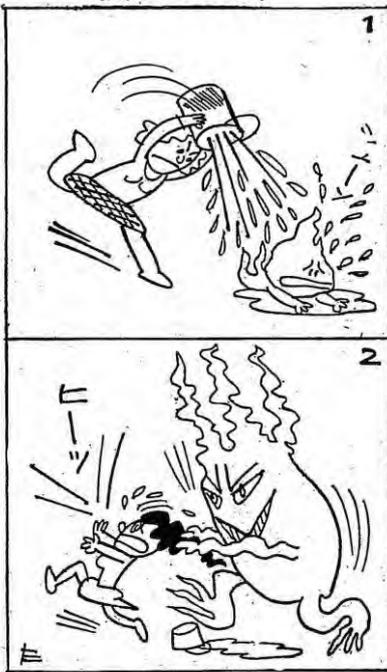
二 重点実施事項

- (一) 寝たきり老人の安全確保
- (二) 家庭における安全点検
- (三) 老人、幼児及び病人等の就寝場所の安全点検
- (四) 避難路の確保
- (五) 避難誘導の徹底
- (六) 避難訓練の実施
- (七) 旅館、ホテル、百貨店、学校及び病院等における安全避難
- (八) 避難器具の整備点検
- (九) 暖房器具の使用時期にはいり、ストーブ及びコタツ等の暖房器具を使用することが多く

なるで、整備点検並びに取扱方法、灯油の保管については十分注意すること)

玉川村
玉川村消防団
玉川村婦人消防隊

あなたにもはじめは消せる
小さな火
(火災シーズン来る)



玉川村
玉川村消防団
玉川村婦人消防隊

血のかよった政治を 知事を迎えて県政懇談会盛会



政ができるものと考えられま
す。今日は皆様の話を聞きに
きたのでありますから、ふだ
ん皆様と考えておられること
を遠慮なくお聞かせ願いたい
と思っております。

産業 関係

- ◇… 去る十月二十四日、玉川第一小学校屋体において
- ◇… 県政懇談会がひらかれ、県より木村知事を始め関係
- ◇… 部課長、出先の長一五名と大野県議、それに村民約
- ◇… 三百五十名が出席して、産業、土木、生活環境、福
- ◇… 祉教育問題等について活発な質問が行なわれました
- ◇… 懇談会は小針村長のあいさつで始まり、続いて木村
- ◇… 知事は次のようにあいさつした。……

皆様の御支援を得まして県
政を担当して十年になります
が、この間福島県を住みよい
県にするために微力ながら努
力してまいりました。福島県
は関東圏に統する経済県であ
るといわれるようになってき
ました。しかし良くはなって
きませんが全国の水準に及ば
ないということは残念です。
これから皆様方に福島県に生
まれてよかった、住んで良か
ったといわれる県にしてい

なければなりません。そのた
めには、県民全部が一語にな
って良くするための努力をし
なければならぬと考えます
。そのためにはあらゆると
ころを歩き県民の一人一人が
どんなことを要望しているの
か、また知りたいのかを聞き
と考えます。こうした観点
に立ってお互いに一同に会し
て顔を見ながら話し合いをす
ることが本当に血の通つと県

開拓パイロット事業が十一
月より一部着工されますが、
いざ事業に当りますととい
う問題が生じてきます。
といひますのは指導機関がま
ちまちであることです。これ
ら指導機関が統一されること
を私共関係者は望むもので
がこの点についてのお考えを
お願いします。もう一つはパ
イロット事業が完了しますと
県で打出している首都圏農業
として経営形態が確立される
ことになりす。これら経営
形態は園芸を主とすることに
なりますが、これに移行する
に当って問題になりますのは
栽培技術の面でいゝんな障害
がでてくるものと思われま
す。この地方に経営指導農場
が必要になってきますので、
この点よろしく願います。

【知事答弁】

現在の零細経営では専業農
家として成り立っていくのは
無理な状態にあり、現在の経
営耕地面積は非常に狭く平均
一、二ヘクタールとなってい
ます、このため一方で耕地を
増やすため阿武隈開発事業、

開平事業を実施して耕地面積
を増やし、一方では圃場整備
を行なって採算のとれる農業
経営の指導を行なっていくま
す。しかし全部が全部専業農
家にはできませんので兼業農
家には工場誘致して安定収入
が得られるようにするのが基
本的な考え方です。御指摘の
ように農用地開発は地域の皆
様方と密接なものでなければ
ならないと考え、昭和四十七
年度より郡山農地事務所を中
心として広域的な母畑開発の
指導班をつくって活動してお
り、また昭和四十八年度より
石川改良普及所を広域的な普
及所としてどのようにしたら
皆さんの意見をとりまとめる
ことができるか国営事務所と
密接な関連をとりながら農地
造成を行っている状態です。
今後もしこれらと緊密な連携の
もとに皆さんの考えを反映し
ていかなければならないと思
います。もう一つの首都圏の
農業県として果すべき役割の
調査研究機関としては園芸試
験場がやっておりますが、野
菜も年々多様化しています。
これに対応するために研究
を進めこの地方の将来の作目
を選定したいと考えており、
試験場の分場が必要となつて
きましたらこれに対応して行
きたいと考えております。

【質問】

玉川村におきまして昨年農
振法の指定を受けた訳ですが
これにより農用地として

された土地は農地転用ができ
なくなっております。つきま
しては村なり農業委員会が必
要と認めた場合の農地の転用
は県においても認めてもら
たい、開くところによると昭
和四十九年度までは凍結して
指定地における転用は認めな
いということでありすが、
これについても許可相当と認
めた土地については許可をお
願ひしたい。

【知事答弁】

農振法の問題ができましたが
人間として生きていくために
は食料としての農作物が必要
であり、これを生産する農地
が潰されていって食料の安
定供給ができなくなつて重大
なことになります。そういう
観点に立って農振法を制定し
た訳です、指定された地域に
は農業投資を行なう場合いろ
いろな国の補助がありますが、
指定を受けた土地全部が農用
地としての効果があるかとい
うとそうばかりも言え切れな
いと思ひますので農用地とし
て不適用と思われものにつ
いては解除する方向にもつて
いきたい。

教育 関係

学力の地域格差と施設及び
産業高校設置について質問し
ます。
学力の問題であります都市部
には若い先生が農村部には
老いた先生が配置されている
ような状態にありますので大

中に人事交流を行なつて農村
部に若い優秀な先生の配置を
行なつて学力の地域格差を解
消するよう願つていただきた
い。
施設の問題であります、今
や一校一プールという話がで
ており強く要望する処であり
ます。都市部はほとんど完備
しているようですが、農村部
にはあまり設置されていま
せん。そのため同じ県民として
格差を感じます。施設の設置
については大部分が国の予算
で県の予算が少なく財政の乏
しい村ではなかなかできない
状態にありますのでこの点に
ついて県はどのように考えて
いるのか。

産業高校の設置についてです
が石川郡内には普通高校はあ
るが産業高校がありません。
地域産業の発展には産業高校
が必要と考えられますので是
非産業高校を設置していただ
きたいのですが知事はどんな
考えでおられますか。

【知事答弁】

教育の問題ができましたが教
育には格差があつてはならぬ
と思つております。
教員の人事交流は毎年行なつ
ておりなるべく都市と山間の
格差はなくしようとしており
ます。問題は若い教師、老
いた教師の問題より教師を大
事にする事です。やはり地域
の方々が先生を大切にしよう
とする考え方が地域の教育の
向上になると思ひますので、

先生のたりない点は住民の方が助け合って、りっぱな子供を育てあげるよう協力して下さい。私からもお願い致します。施設についてはですがブルはだんだんできてきます。これは文部省の予算でできますので文部省に補助を多く出すよう働きかけていきたいと思っております。

産業高校の設置の件でありますが、ないのは石川郡ばかりではありません。須賀川、田村方部にもありません、そういう状態ですで作ることは今約束できません。最近の傾向は家業高校に入る人は少なくなってきました、普通高校に入る人が多くなってきました。実業高校はそういう状態です。ですから全県下の状態を見て必要な場所、場合につくするようにしていきたいと思っております。

社会教育

青少年育成の場から研修所を県南地方に設置してもらいたいといえますのは当地方には一つもありませんので千五沢ダム周辺に県民の森を兼ねた総合研修所を建設していただきたい。

もう一つは公民館建設に關してであります。公民館は青年婦人の活動、学習の場となっております。補助金が少ないため財政の乏しい町村では容易に建設できない状態ですので公民館建設の補助を増額をお願い

いたします。

【知事答弁】

青少年育成のための研修所の建設ですが活動の場としての研修場は次の世代を荷なう青少年を育成するのに一番大切なことです。青少年健全育成にあらゆる努力をして参っており現在県内に三十ほどあります。県としてもこういう施設をもっとふやしていく考えですし、国の方にも働きかけております。今要望がありました千五沢ダム周辺は環境も良いので適地の一つとして検討していきたいと存じます。



公民館は社会教育のため非常に大切なことで、公民館は毎年十館位建設されておりますが現在国庫補助一千五十万円、県はこれに設備費の一部として五十万円出してあります。町村の財政が乏しいからといって多くは出せませんので市町村振興基金というのがありますのでこれを利用していただきたい。

成人病検査の無料化と老人憩の家の建設について質問し

社会福祉

成人病検査は毎年実施されておりますが受検者数が少なくその実績は上がっていないと推測されます。成人病検査は病気の早期発見に非常に大切なことですので是非これの無料化と制度化された検査をお願いする。

【知事答弁】

成人病による死亡者は年々ふえているのが現状です。こういう点から成人病に対する正しい認識と早期診断、早期治療が大事と考えます。四十九年度から結核患者と同

じくじゅん環器系統の無料検査ができるようになります。その他についても暫時公費負担でできるよう考えております。老人福祉センターについてですが老人の方々が一ヶ所に来ることは容易でないの各村に老人憩の家を作って、お互いが集まって話をしたり勉強したりする場を作るために県はこれに対し助成をしております。

生活環境関係

交通量の増加による一番の被害者は通学児童ですが、これら児童生徒が安心して通学できるように、交通安全施設の整備をお願いしたいのですが知事はどのように考えておられますか。

【知事答弁】

交通安全施設の問題ができましたが、お話のように交通事故をなくそうという考えは県民全部の願いです、県においては皆さんの協力を得て努力してはいますがなかなか良くならないのが実情です。県として安全施設の整備のため、四十八年度に九億二千万円の金を投じてこの整備に努力しております。来年もこれ以上投じて整備を進めていく考えです、また今後ともできるだけ力を入れていきたいと思っております。

土木関係について
県道矢吹千五沢線の整備についてですが、この路線は本

村の東部と西部を結ぶ重要路線です。全長十二キロの内、改良舗装されているのが四、四キロメートルしかありません。私共としては全線が一日も早く整備されますことを望んでいるのですがこの見通しについてお訪ねします。

【知事答弁】

私が知事になりました十年前、福島県の開発、発展はまず道路の整備が必要であるといいましたが、幸い道路の整備は進んでまいりました。お訪ねの千五沢、矢吹線は早く整備をやろうと思っておりますし、地元の負担がない公共事業であります。今年度は特改一種で八百万円、第四種改良で一千五百万円、県単で五十万円を実施しております。来年度もこれ以上やりたいと考えております。

交通量の増加による一番の被害者は通学児童ですが、これら児童生徒が安心して通学できるように、交通安全施設の整備をお願いしたいのですが知事はどのように考えておられますか。
交通安全施設の問題ができましたが、お話のように交通事故をなくそうという考えは県民全部の願いです、県においては皆さんの協力を得て努力してはいますがなかなか良くならないのが実情です。県として安全施設の整備のため、四十八年度に九億二千万円の金を投じてこの整備に努力しております。来年もこれ以上投じて整備を進めていく考えです、また今後ともできるだけ力を入れていきたいと思っております。

最後に町村道の整備促進についてお願ひします。国道、県道については整備が進んでおりますが、町村道については昔のままで整備が進んでい

用地取得関係

道路が毎年整備されていくことは大変良いことであります。...

【知事答弁】

今のお話では地権者の承諾を得ないで、工事発注を業者が工事着手していることですが、これが事実とすれば私があやまります。...

狩猟に注意



十一月一日より狩猟解禁になりましたが、毎年この狩猟による事故が発生しております。...

昭和49年度

福島県産業開発

青年隊員

募集について

近年建設事業は、大型化し、高度の技術を要求されております。このため若い優秀な建設技術に寄せる期待は極めて大きいものがあります。...

募集期間

昭和四十八年十一月三十日まで

○募資格

- 1 現在県内に居住する者及び本県出身で入隊時十八才以上の未婚の男子
2 高校卒業者又は同程度の

地方税完納運動

期 間

- 十一月から十二月まで
十一月一日から十二月末日まで地方税完納運動が実施さ

よく納めよく使われて生きる税

- 1 学方を有するもの
2 心身強健にして、労働に耐え共同生活の出来る者
3 犯罪歴を有しない者
4 希望があります方は役場建設課に問合せ下さい。

建設工事発注

本年度土木工事計画の内五地区の工事を十月三十一日入札を行い左記の通り業者が決定されました。...

Table with 4 columns: 施行箇所, 工事名, 請負金額, 請負者

申告所得税 第二期分の納税は

十一月三十日まで

期限内完納にご協力ください。

振替納税を利用されている納税者のみなさんへ
納付書は税務署から指しよ



道路の横断は 必ず安全を 確めて渡りましょう



え、振替不能にならぬようご心配ください。
なお、直接納付されますと二重納付となりますので、ご注意ください。
◆振替納税を利用されていない納税者のみなさんへ
十一月三十日まで、もよりの銀行、郵便局へ納付書にはっきり記入して納付してください。
なお、この機会にぜひ便利な振替納税のご利用をおすすめいたします。
申請に必要な用紙は、税務署に備付けてありますのでお気軽にお申し出ください。
(須賀川税務署)

家庭バレー小高が優勝



農村婦人の腰のぼしと親ほくをはかる玉川村家庭バレーボール大会は、今年で九回目をむかえ、十一月三日玉川第一小学校々庭に村内全部落の十一チームが参加して熱戦をくりひろげ、小部落ながら四辻、山小屋チームの健闘が光ったが、決勝戦では小高と南須釜の強豪同士の対戦となり小差で小高チームが優勝。南須釜準優勝、三位は川辺と山小屋チームでした。

成績は次のとおりです。

- 一回戦
南須釜2—0岩法寺
北須釜2—0山小屋
川辺2—0藤生
- 準決勝
小高2—1山小屋
南須釜2—1川辺
- 決勝
小高2—1南須釜
- 敗者復活戦
山小屋2—1藤生
竜崎2—0岩法寺
四辻2—1吉
- 二回戦
小高2—0中
南須釜2—1北須釜
川辺2—0四辻
山小屋2—0竜崎
- 小高2—0四辻
中2—0吉

任期満了に伴なう人事

九月定例村議会において役員仁井田保治(再任)さん、期満了に伴なう教育委員、監査委員、固定資産評価委員の(五八)さんが選任され、選任が行なわれ、教育委員石森藤義(六九)さん、監査委

児童・生徒作品 (その2)

須釜小学校四辻分校

えんそく

二年 関根 幸子

十六日は、わたしは動物のしいえんそくでした。とちゅうけしきをながめながら行きました。わたしは木の形や、はの形をよく見ました。はっぱの色は、みんなちがう色できれいでした。

やつと、おっそらがまの学校につきましました。わたしたちの学校とくらべて、おっそらがまの学校は、大きいといいくかんはあるし、学校がとももきれいでした。

あつちの人が「なかよくあそんでください。」と、いったからいっぱいあそびました。ぶらんこにのったり、ジャングルジムの上ののったりすべりだいののったり、ぎつたんぼっこにのったり、なんかいもくりかえして、みんなでおもしろくあそびました。

もうまかった。

えんそくは、たのしいな思とった。

ぼくと

四年 塩田 清之



先生が来たから、わたしときようこさんが「はらへった。」と、いきました。「では、おべんとうにしましゅう。」と先生がいったので、みんな「わあ。」とよろこびました。

うらの草はらへ行って、ナイロンをしいてすわりました。おにぎりを食べたり、チョコレートを食べたり、キャラメルもなめました。みんなで食べたのでとてもかわいいなと

ぼくは子牛、母は親牛を引いて運動に行った。道ばたの草を食べべノロノロ歩くので運動になるのかと思った。自分の家を知っているのか帰りはかけ足、向こうから下の家の人が牛の運動にきた。子牛は立ち止まってびくともしない、「うらん。」「うらん。」と引く、少し歩いてまな止まる、たずなで「ピシ」とたたく、子牛ははねあがったのでびっくりした。こわかったけどたずなをにぎりしめると子牛は顔をよせてきたのでとてもかわいいなと



花 六年 大野木代子

思った。

自動車がヘッドライトをてらしてきた、たずなを短かく持って止めた。まぶしいのはねまわってあばれはじめた、とっても強い力でぼくを引きずったが、首をなでてやっているうちにおとなしくなったのでかけ足で家に帰った。

さっそく草をたくさんくれた。息もつかないで食べている子牛を見て、早く大きくなればよいと思った。ブラシを持ってきて、おかあさんといっしょに子牛のからだを「ゴシゴシゴシ」とこすってやった。子牛はうれしそうちに「モウーモウー」と鳴いた。

「おかあさん、毎日子牛の運動をするよ。」

「うん、よかったね子牛があんなによろこんでいるよ。かわいがってあげなさいとてもうれしかった。

毎日子牛と遊んでやることにした。



